国語

用言の 活用

（動詞・形容詞の 活用形）

なまえ

あとに 続く ことばを 手がかりに、活用形を 考えましょう。

やりかた



ことばの 形が かわると、
どの 形か まようよね。
あとに 続く ことばを
見ると、ヒントに なるよ。
1つずつ たしかめようね。

未然形	書か	（ない）	連体形	書く	（とき）
連用形	書き	（ます）	仮定形	書け	（ば）
終止形	書く	（。）	命令形	書け	（。）

① あとに 続く ことばを 見る
② 「ない」を つけて、活用の 種類を 見る

1 ——線の 動詞の 活用形を、ア～カから えらびましょう。

ア 未然形　イ 連用形　ウ 終止形　エ 連体形　オ 仮定形　カ 命令形

① 本を 読まない。 □
② 手紙を 書きます。 □
③ 毎朝 走る。 □
④ 走る ときは 前を 見る。 □
⑤ 急げば 間に合う。 □
⑥ ボールを 投げろ。 □
⑦ 友だちと 話した。 □
⑧ いっしょに 行こう。 □

2 「ない」を つけた 形と、活用の 種類を 書きましょう。

種類は「五段・上一段・下一段」から えらぼう。

⑨ 書く → □ ない □
⑩ 見る → □ ない □
⑪ 食べる → □ ない □
⑫ 遊ぶ → □ ない □
⑬ 起きる → □ ない □
⑭ 投げる → □ ない □

3 形容詞「寒い」が 活用した 形です。□に ひらがなを 書きましょう。

⑮ 寒□う（未然形）
⑯ 寒□た（連用形）
⑰ 寒□なる（連用形）
⑱ 寒□ば（仮定形）



しょうとくクラブ 無料学習プリント　www.emina-base.com/shotokuclub/prints
ご家庭・学校・療育の場でご自由にお使いください。再配布・販売はご遠慮ください。

国語

用言の 活用

（動詞・形容詞の 活用形）

こたえ

あとに 続く ことばを 手がかりに、活用形を 考えましょう。

ここに 気を つけよう



よく 見ると、終止形と 連体形は 形が 同じなので、取りちがえる ことが 多いよ。
「。」で 終われば 終止形、「とき・こと」の ような ことばに 続けば 連体形だよ。
まちがえた ところが わかったら、それが いちばんの せいちょうだよ。

1 ——線の 動詞の 活用形を、ア〜カから えらびましょう。

ア 未然形　イ 連用形　ウ 終止形　エ 連体形　オ 仮定形　カ 命令形

① 本を 読まない。 ア
② 手紙を 書きます。 イ
③ 毎朝 走る。 ウ
④ 走る ときは 前を 見る。 エ
⑤ 急げば 間に合う。 オ
⑥ ボールを 投げろ。 カ
⑦ 友だちと 話した。 イ
⑧ いっしょに 行こう。 ア

2 「ない」を つけた 形と、活用の 種類を 書きましょう。

種類は「五段・上一段・下一段」から えらぼう。

⑨ 書く → 書か ない　五段
⑩ 見る → 見 ない　上一段
⑪ 食べる → 食べ ない　下一段
⑫ 遊ぶ → 遊ば ない　五段
⑬ 起きる → 起き ない　上一段
⑭ 投げる → 投げ ない　下一段

3 形容詞「寒い」が 活用した 形です。□に ひらがなを 書きましょう。

⑮ 寒 かろ う　（未然形）
⑯ 寒 かっ た　（連用形）
⑰ 寒 く なる　（連用形）
⑱ 寒 けれ ば　（仮定形）

このプリントで育つ力：あとに続くことばから活用形を見分け、動詞の活用の種類を考える力



ご家庭・学校・療育の場でご自由にお使いください。再配布・販売はご遠慮ください。